

(一社) 日本塑性加工学会 板材成形分科会 平成 29 年度総会・研究会・第 75 回セミナー  
「自動車部品のプレス成形の基礎と応用ーその 1ー」

日 時：平成 29 年 12 月 11 日(月)

会 場：大同大学 A 棟 14 階 交流室

名古屋市南区滝春町 10 番地 3] (アクセスマップ：http://www.daido-it.ac.jp/access/index.html)

交 通：名古屋鉄道常滑線 大同町駅下車 徒歩 3 分

趣 旨：自動車部品は板材成形を主体としたものが多く、最近では軽量化と衝突安全性を両立させるため、高強度材や軽量材料の活用が盛んに行われている。これらは難成形材であり、使いこなすためには、板材成形の基礎的な知識・技術を理解しておくことが欠かせない。本研究会およびセミナーでは板材成形分科会の会員向けに、第 1 部の研究会では自動車部品のプレス成形の基礎としてプレス成形難易ハンドブック（第 4 版）の第 2 章～第 4 章を中心に勉強会を開催する。後半のセミナーでは自動車メーカーおよび鉄鋼メーカーの実際の活用事例を紹介する。

スケジュール

13:00～13:30 総会

第一部：研究会「自動車部品のプレス成形の基礎」＜プレス成形難易ハンドブックの解説（第 1 回）＞ 司会 大同大学 蔦森 秀夫君

時 間	成形難易ハンドブックの対応部分と対応ページ	講 師
13:40～14:10	<b>第 2 章 自動車用鋼板</b> 現在使われている自動車用鋼板、自動車用鋼板の規格体系、機械的性質と材料因子、その他特性と材料因子、今後の展望。 第 4 版のページで p31～p77.	新日鐵住金(株) 中澤 嘉明君
14:10～14:40	<b>第 3 章 薄板の成形性と成形性試験法 1</b> 薄鋼板の成形性の概念、成形性の基礎理論、成形性試験法（材料特性の試験法まで） p79～p105.	JFE スチール(株) 新宮 豊久君
14:50～15:20	<b>第 3 章 薄板の成形性と成形性試験法 2</b> 成形性試験法（基本成形性試験法以降）、今後の展望 p106～p142.	神戸製鋼所(株) 吉岡 典恭君
15:20～15:50	<b>第 4 章 破断成形限界と成形難易評価 1</b> はじめに、破断の実態と分類、破断のメカニズム、破断限界・変形限界の評価方法、破断に及ぼす材料の影響 p143～p185.	新日鐵住金(株) 米村 繁君

第二部：第 75 回セミナー「自動車部品のプレス成形の応用」

司会 大同大学 蔦森 秀夫君

時 間	内 容	講 師
16:00～16:30	<b>1180MPa 超ハイテン ロッカー採用に向けたズラシ曲げ工法良品条件の確立</b> 冷間高強度材を使用してロッカーの様な直線形状を曲げ成形する際、稜線でのスプリングバックは量もバラつきも大きい。また、成形荷重を抑えた工法も必要となる。上記課題を踏まえズラシ曲げ工法採用時の良品条件調査結果を紹介する。	トヨタ自動車(株) 寺田 英司君
16:30～17:00	<b>曲げ刃形状最適化によるエッジしわ抑制手法の検討</b> プレス成形部品の縦壁エッジ部へのしわ発生に関して各種実験を行い、材料強度や板厚、金型形状が及ぼす影響を明らかにした。その結果をもとに、エッジしわが発生しにくい曲げ刃形状の設計手法を検討した。	JFE スチール(株) 揚場 遼君

第三部 懇親会

17:30～19:30 大同町駅近くの居酒屋「おうみ」

参加費：当分科会会員 無料（日本塑性加工学会の学生会員は 1000 円）、左記以外の学会会員 5,000 円（協賛学協会員は会員扱い）。分科会入会により無料になります）、一般 10,000 円。懇親会は一律一人 4000 円となります。

申し込み方法：メールによる申し込み、申し込み先 大同大学 蔦森まで [h-tuta@daido-it.ac.jp](mailto:h-tuta@daido-it.ac.jp)

**テキスト販売について**：希望者は第一部の研究会のテキスト**成形難易ハンドブック第 4 版**をこの場で購入することが出来ます。税込み 12000 円です。メールでの申し込みの際に**ハンドブック購入希望**と書いて申し込み下さい。

**テキスト持参のお願い**：第一部のテキストは成形難易ハンドブック第 4 版です。ご持参お願いします。第 3 版以前のものでも代用可です。